

シミュレーション 2040 について

【実施の背景】

若年層の投票率は低い数値を推移しており、今後投票率を向上させるには政治参加意識の向上(選挙や政治を自分ごととして捉えること)が必要。

「シミュレーション 2040」は、政策の議論や模擬投票といったイベントが盛り込まれており、政治参加意識の向上が見込まれる。(選挙・政治の知識の有無に関係なく参加できるよう、カードゲーム方式を採用)

【ルール】

- ・1グループを5名とし、「産業課長」、「まちづくり課長」、「土木課長」、「福祉課長」、「教育課長」に任命する。
- ・ゲーム中、2回のイベント(①2026年から2030年の政策、②2031年から2040年の政策)について討議する。
- ・5名の課長は、それぞれ事業を担当しており、イベント(災害の発生や社会保障費の増加、新規事業の提案など)に対応するため、既存事業の廃止や新規事業を実施するための方策を考えていく。
- ・事業にはそれぞれ、①福祉、②教育、③経済、④住環境といった貢献度が設定されており、最終的にどのような事業を残すのか、どのような新規事業を実施するのかによってグループごとに特色のあるまちづくりが行われる。
- ・グループごとにどのようなまちを作ったのか発表してもらい、どのグループが良かったか、参加者が投票する。

【使用する資料】

実施している事業	実施している事業	廃案にした事業
  	  	
  	  	
  	 	